

# 福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山公立大学 学生修学支援臨時交付金事業												
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課					所属長	岸本 範義					
会計情報	事業コード	660113	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山公立大学修学支援交付金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、学生の学びの継続を支援するために地方創生臨時交付金を活用し、福知山公立大学が行う独自の授業料減免に対する支援。												
対象者	福知山公立大学生	対象者数	619	単位あたりコスト	12.5								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	該当学生の年間授業料の1/3(178,600円)を減免 【対象者】 ・高等教育無償化制度の対象者(全額減免対象者を除く) ・福知山公立大学独自の所得基準(高等教育無償化制度の約1.3倍)の範囲内の者												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	5,983	福知山公立大学独自減免制度に対する支援(福知山公立大学修学支援事業交付金)										

## III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	14,288	16,432					
	② 補正予算	0	6,965	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	0	6,965	14,288	16,432						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	16,432					
	② 国支出金	0	6,965	14,288	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0					
	② 配当予算	0	6,965	0	0					
	③ 執行額	0	5,983	0	0					
	④ 執行率	0.0%	85.9%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.20 / 0.07	0.20 / 0.07	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	0	1,775	1,775	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	7,758	1,775	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山公立大学 学生修学支援臨時交付金事業(地方創生臨時交付金)		種類	教育費国庫補助金	実績金額	5,983	決算付属資料	24	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	経済的理由による退学者数	人		/	0 / 0	/ 0	0
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	制度利用者数	人		/	38 / 167	/ 80	制度条件に合致する学生全員
	単位あたりコスト			/	157.4	/	
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大による困窮学生を救済するための大学独自の授業料減免制度の創設による大学の減収分を、設立団体である本市が支援を行う。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の財源(地方創生臨時交付金)を活用し、一般財源負担を抑えている。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済的な理由により修学が困難な学生の学びの継続を支援することができる。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響等により経済的な理由により修学が困難な学生に対し、授業料を減免することにより学生の就学機会を確保した。</li> <li>当制度の利用者を当初は167人を想定していたが、対象者は38人と想定よりも少なかったが新型コロナウイルス感染症の影響による経済的理由による退学者を出さなかった。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、今後も学生及び保護者の経済状況が悪化する恐れがあるため、引き続き学生が安心して就学できる環境を整備する必要がある。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍において経済的に影響を受ける公立大学生の退学を防止するために必要な事業である。</li> <li>既存の高等教育無償化制度に免除額を上乗せする仕組みであり、事業の組み立ては理にかなっている。一方で予算化された対象者数に対して利用者数がかかなり少なく、制度の利用率の原因を分析する必要がある。</li> </ul>
----------	---

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>初年度にあたる令和2年度は対象者数が想定したよりも少なく、あわせて文部科学省からも福知山公立大学に授業料免除の補助がなされたこともあり減額補正をしたことから、令和3年度からは実績に応じた予算額とした。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響等による経済的な理由による学びを止めないよう引き続き支援する。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	高等教育無償化制度交付金事業												
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課					所属長	岸本 範義					
会計情報	事業コード	660112	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	大学等における修学の支援に関する法律、福知山市高等教育無償化制度交付金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	令和2年度より高等教育無償化制度が導入され、住民税非課税世帯及び、それに準ずる世帯の学生に対し、授業料等減免と給付型奨学金制度が創設されることから、交付税措置を原資とし、対象者への授業料・入学金の減免相当額を大学に交付金として支出する。												
対象者	福知山公立大学生	対象者数	619	単位あたりコスト	55.2								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学												
事業概要 (箇条書き)	国の高等教育無償化制度導入に伴う授業料・入学金の減免分を交付税措置を原資とし、大学へ交付金として支出する。 【学費分】 ①全額対象 535,800円/人、②2/3対象 357,200円/人、③1/3対象 178,600円/人 【入学金】 ①全額対象 282,000円/人、②2/3対象 188,000円/人、③1/3対象 94,000円/人												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	33,394	福知山市高等教育無償化制度交付金										

## III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	25,098	41,812	44,227			
	② 補正予算	0	14,965	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	0	40,063	41,812	44,227			
予算財源内訳	① 一般財源	0	40,063	41,812	44,227			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0			
	② 配当予算	0	40,063	0	0			
	③ 執行額	0	33,394	0	0			
	④ 執行率	0.0%	83.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.08 / 0.05	0.08 / 0.05	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	0	765	765	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	34,159	765	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	
								頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	経済的理由による退学者数	人				0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	授業料減免対象者数	人		/	69 / 60	/ 60	制度条件に合致する学生全員
	単位あたりコスト				484.0		
	入学金減免対象者数	人		/	23 / 20	/ 20	制度条件に合致する学生全員
単位あたりコスト				1451.9			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学等における修学の支援に関する法律第10条第3項の規定により、公立大学法人の設立団体である本市が授業料等減免の費用を支弁しなければならない事業である。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市が支弁する授業料等の減免費用は、全額地方交付税措置がなされる。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育機会の均等を図り、経済的な理由により修学が困難な学生の学びの継続を支援することができる。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>令和2年度から高等教育無償化制度が導入され、交付税措置を原資として対象者への授業料・入学金の減免相当額を大学に交付金として支出することで、経済的な理由により修学が困難な学生の学びを継続することができた。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>高等教育無償化制度の支援を受けるためには毎年大学が要件確認を受ける必要があることから本市も大学と連携し要件確認を受けるための支援を実施する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の高等教育無償化制度導入に伴う授業料・入学金の減免分を地方交付税措置を原資とし、引き続き大学へ交付金として支出する。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山公立大学 学生修学支援基金設置事業												
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課						所属長	岸本 範義				
会計情報	事業コード	660109	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山公立大学修学支援事業交付金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症拡大による家計急変やアルバイト収入の減少などにより経済的に困窮する学生を救済するための貸付を行うための基金を創設するための原資として交付金を交付する。												
対象者	福知山公立大学生						対象者数	619		単位あたりコスト	35.8		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	【学費貸付支援制度】 ・やむを得ない事情で学費を延納する者に最大で授業料年額に相当する最大536千円を貸し付ける。 【緊急生活支援制度】 ・家計急変やアルバイト収入の減などに対応するため、生活支援金として最大200千円(5万円×4か月)を貸し付ける。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	20,720		福知山公立大学が実施する資金の貸付に対する支援(福知山公立大学修学支援事業交付金)									

## III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0		
	② 補正予算	0	20,720	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0		
小計(①～③)	0	20,720	0	0	0	0			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0		
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	20,720	0	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0		
	② 配当予算	0	20,720	0	0	0	0		
	③ 執行額	0	20,720	0	0	0	0		
	④ 執行率	0.0%	100.0%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.16 / 0.07	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	0	1,455	0	0	0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	22,175	0	0	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山公立大学 学生修学支援基金設置事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	20,720	40	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	経済的理由による退学者数	人			/	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	貸付金利用者数(学費貸付)	人		/	2 / 40	/ 40	制度条件に合致する学生全員
	単位あたりコスト				10360.0		
	貸付利用者数(緊急生活支援)	人		/	2 / 50	/ 50	制度条件に合致する学生全員
単位あたりコスト				10360.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大により経済的に困窮する学生に学費の支払いや生活に必要な資金の貸し付けのための基金を創設するにあたり、設立団体である本市が原資を交付する。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと創生事業基金を活用し、一般財源負担を最低限に抑えている。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済的な理由により修学が困難な学生の学びの継続を支援することができる。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響等により経済的な理由により修学が困難な学生に対し、国の支援制度等は手続等に時間を要することから、本基金の設置により緊急に支援が必要な学生に対して迅速に対応することができる。</li> <li>また、今回の新型コロナウイルス感染症に限らず、大規模災害や保護者の家計急変など今後の大学独自の学生向けセーフティネットとして運用が可能となる。</li> <li>当制度の利用者を当初は、学費貸付を40名、緊急生活支援を50名と想定していたが、対象者は学費貸付、緊急生活支援とも2人と想定よりも少なかったが新型コロナウイルス感染症の影響による経済的理由による退学者を出さなかった。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市と大学が連携しふるさと納税をはじめ内外からの寄附金などの獲得に努めることで、継続的に基金の積み増しを図り、学生支援体制の充実に努める。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の影響を受け経済的に困窮している公立大学生への支援のために必要な事業である。</li> <li>本事業に対する利用者の評価をもとに、ニーズや今後の活用見込みなどの分析が必要である。</li> <li>活動実績の目標数値の立て方について、整理が必要である。学費貸付と緊急生活支援の2つの支援であれば、双方を指標にしてはどうか。</li> </ul>
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換え <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症に限らず、大規模災害や保護者の家計急変など今後の大学独自の学生向けセーフティネットとして基金を運用していく。</li> <li>ふるさと納税をはじめとする寄附金等の獲得に努め、継続的に基金の積み増しを図り、学生支援体制の充実に努める。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	大学振興一般管理事業												
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課						所属長	岸本 範義				
会計情報	事業コード	660108	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020502	施策名	産・官・学が連携し地域産業の振興と雇用創出による賑わいを創出する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	独立行政法人法、公立大学法人福知山公立大学評価委員会条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公立大学法人福知山公立大学の設置者として、地方独立行政法人法第25条第1項に規定する中期目標に基づき、法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図るための施策の展開、適切な執行の管理・監督等を目的とする。												
対象者	福知山公立大学生及び北近畿市町住民	対象者数	532,685	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・公立大学法人福知山公立大学評価委員会の運営 ・志願者確保に向けた学生募集活動 ・国、府、他市町との協議調整 ・産学官連携体制の構築に向けた近隣市町・企業等との連携事務 ・公立大学法人福知山公立大学の広報支援事務												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	報酬	3,915	福知山公立大学評価委員会委員報酬、福知山市高等教育施策に係る特別顧問報酬										
	職員手当等	47	臨時職員賃金										
	旅費	697	福知山公立大学評価委員会委員・福知山市高等教育施策に係る特別顧問実費弁償、大学政策課職員旅費										
	需用費	243	消耗品費、燃料費、印刷製本費										
	役務費 他	339	郵送料、電信・電話料、高速道路等通行料、複写機使用料、Wi-Fiルータ購入費、国公立大学設置団体協議会会費										

## III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	4,520	4,408	4,371	4,361				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	4,520	4,408	4,371	4,361					
予算財源内訳	① 一般財源	3,351	3,239	3,233	3,223				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,169	1,169	1,138	1,138				
決算情報	① 流充用額	1,560	861	0	0				
	② 配当予算	6,080	5,269	0	0				
	③ 執行額	6,080	5,241	0	0				
	④ 執行率	100.0%	99.5%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.91 / 0.55	1.11 / 0.47	1.11 / 0.47	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	16,655	10,055	10,055	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	22,735	15,296	10,055	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入(大学政策課)	種類	財産貸付収入	実績金額	1,138	決算付属資料	34	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	北近畿地域の入学者数	人	12/20	13 / 20	24 / 20	/	20	20
北近畿地域の志願者数	人	39/40	32 / 40	44 / 40	/	40	40	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	評価委員会開催回数	件	4/4	3 / 4	3 / 4	/	4	4
	単位あたりコスト		1570.0	2026.8	1747.0			
	高校訪問(PR)回数	件	83/100	20 / 70	20 / 70	/	70	大学法人による実施
単位あたりコスト		75.7	304.0	262.1				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価委員会は地方独立行政法人法第11条の規定による法定事務であり、また本事業は法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図るために必要な事業である。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価委員会委員への報酬及び費用弁償は、本市条例に基づく適切な金額である。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>志願者数は他の国公立大学と比して平均的な数値目標を設定している。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>614人の志願者があり、適切な大学運営ができていることは評価できる。</li> <li>公立大学法人福知山公立大学の4回目となる業務実績評価及び中期目標評価(4年終了時)を実施し、公立大学法人福知山公立大学評価委員会から「中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している」との評価を受けた。</li> <li>京都府公立高校校長会等の場において、理事者から福知山公立大学について情報発信を行うなど、大学周知に努めることができた。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立大学法人福知山公立大学評価委員会の評価結果を踏まえ、法人と連携をとりながら評価結果を分析し、令和2年度以降の業務に的確に反映していくよう指導・助言する。</li> <li>福知山公立大学生の北近畿地域への定着に向けて、企業訪問、インターンシップ等のキャリア支援活動を実施する。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・特になし

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	「知の拠点」推進事業												
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課					所属長	岸本 範義					
会計情報	事業コード	660107	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020503	施策名	市民一人ひとりの自己実現と生涯学習を促進・支援する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	「知の拠点」整備構想							
根拠法令等	福知山公立大学「知の拠点」推進事業交付金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山公立大学が北近畿地域における様々な課題解決に向けたシンクタンク機能を発揮するとともに、市民の「知の拠点」の役割を果たすため、地域連携・地域協働を推進するための取組を支援する。												
対象者	福知山公立大学生	対象者数	619	単位あたりコスト	631.2								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学												
事業概要 (箇条書き)	・北近畿地域の地域住民、行政機関、金融機関、企業、各種団体等との連携拠点である「北近畿地域連携機構」の地域連携事業費、京都北部地域連携都市圏や兵庫県朝来市、丹波市との地域連携事業費を支援し、地域協働・地域連携活動を推進した。 ・4号館の空調・エレベーター改修、福祉棟2階をクラブ・サークル室に改修を行った。 【主な財源】 ●「知の拠点」推進事業(地方創生推進交付金) 教育費国庫補助金 17,350千円 決算附属資料 24頁 ●「知の拠点」推進事業基金繰入(ふるさと創生事業基金) 基金繰入金 17,250千円 決算附属資料 40頁 ●「知の拠点」推進事業基金繰入(ふるさと納税基金) 基金繰入金 2,255千円 決算附属資料 42頁 ●「知の拠点」推進事業(地域活性化) 教育債 265,200千円 決算附属資料 54頁 ●「知の拠点」推進事業(学校教育施設等整備) 教育債 12,700千円 決算附属資料 54頁												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	報酬	1,899	福知山市教育連携顧問報酬										
	職員手当等	20	臨時職員賃金										
	旅費	100	福知山市教育連携顧問実費弁償										
	負担金補助及び交付金	377,917	「知の拠点」推進事業交付金										
	需用費、使用料及び賃借料	131	消耗品費、複写機使用料										

## III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	25,708	391,755	47,676	414,178				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	635,000	0	0	0				
	前年度繰越	635,000	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	660,708	391,755	47,676	414,178					
予算財源内訳	① 一般財源	21,531	35,500	0	15,000				
	② 国支出金	115,169	17,250	22,750	204,250				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	509,900	319,500	0	168,000				
	⑤ その他特財	14,108	19,505	24,926	26,928				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	660,708	391,755	0	0				
	③ 執行額	658,998	380,067	0	0				
	④ 執行率	99.7%	97.0%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.94 / 0.15	1.24 / 0.28	1.24 / 0.28	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,895	10,620	10,620	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	666,893	390,687	10,620	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	「知の拠点」推進事業(地方創生推進交付金)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	17,350	決算付属資料	24	頁
		「知の拠点」推進事業基金繰入(ふるさと創生)		基金繰入金	17,250	40			
		「知の拠点」推進事業基金繰入(ふるさと納税)		基金繰入金	2,255	42			

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
福知山公立大学の社会人向け講座受講者数		人	1598/300	1253 / 400	607 / 500	/ 600	1500
	新学部設置		認可申請書提出/認可申請書提出	設置認可済 / 設置認可	開設 / 0	/ -	設置認可
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	地域と大学の連携取組数(包括協定締結数)	件	15/10	15 / 10	15 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		96.1	43933.2	25337.8		
	新学部入学者数	人	-	- / -	108 / 100	/ 100	入学定員数充足
	単位あたりコスト		-	-	3519.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>北近畿地域連携機構は北近畿地域の地域連携拠点施設であり、福知山公立大学が北近畿地域の地域創生、地域活性化の役割を果たすために欠かすことができない優先度の高い事業である。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の財源(地方創生推進交付金)を活用し、一般財源負担を最低限に抑えている。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>北近畿創生フューチャーセッションをはじめとする様々な公開講座において各種団体から講師を招き、幅広い分野の学びの場を提供した。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>北近畿創生フューチャーセッション(宮津市、綾部市)など様々な地域連携事業を通じて北近畿地域の行政機関、教育機関、企業、各種団体等とのネットワークを形成した。</li> <li>キャンパス整備として、4号館の空調、エレベーター改修及び、学生活動施設として福祉棟2階の改修工事を実施した。</li> <li>成果実績の指標としている「地域と大学の連携取組数(包括協定締結)」については、今後は協定締結数だけでなく、民間組織・企業等との連携を推進することをめざす。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携拠点である北近畿地域連携機構の情報を大学ホームページや情報誌等を活用して積極的に発信し、地域住民並びに北近畿地域の企業、行政、各種団体等による利用を促進するとともに、京都府北部や兵庫県北部を対象とした地域連携事業の積極的な展開、さらには各種イベントの全国発信を継続的に実施することで、北近畿地域はもとより全国に福知山公立大学の存在感を高めていく。</li> <li>京都工芸繊維大学とも連携し産学官による地域の産業イノベーションの創出に取り組んでいく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の大学院開設に向け施設整備を実施する。(2号館耐震改修工事、新棟の建設、既存建物の改修)</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山公立大学就学生支援事業												
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課					所属長	岸本 範義					
会計情報	事業コード	660106	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山公立大学入学支援交付金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山公立大学に入学し、または在学する者の修学意欲の向上を図るとともに、経済的理由により修学が困難である者に入学支援金・奨学金を支給することにより、社会に有為な人材の育成を図ることを目的とする。また、奨学金事業の創設を通して、福知山公立大学の教育環境の充実を図ることにより、志願者の増加を目指す。												
対象者	福知山公立大学生	対象者数	619	単位あたりコスト	1.6								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	【福知山公立大学入学支援交付金】 ・高等教育無償化制度の対象とならない福知山市民の入学者に対して入学金の減免制度(減免額 94,000円) ・福知山公立大学入学支援交付金交付要綱に基づき、入学金の減免分を福知山公立大学に交付金として支出する。 ■交付額は該当学生1人当たり94,000円。(入学金282,000円の1/3)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	376	福知山公立大学入学支援交付金										

## III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	4,162	470	470	470			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	4,162	470	470	470			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	4,162	470	470	470			
決算情報	① 流充用額	△ 881	△ 79	0	0			
	② 配当予算	3,281	391	0	0			
	③ 執行額	1,122	376	0	0			
	④ 執行率	34.2%	96.2%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.06 / 0.30	0.07 / 0.02	0.07 / 0.02	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,230	610	610	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,352	986	610	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山公立大学就学生支援事業基金繰入		実績金額	376	決算付属資料	40	頁
	種類							

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	制度利用し卒業に至った人数	人	0/0	1 / 1	- / -	- / -	- / -
入学者数	人	125/120	139 / 120	212 / 200	- / -	200	入学定員充足
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入学支援金利用者数	人	9/28	3 / 22	4 / -	- / 5	制度条件に合致する学生全員
	単位あたりコスト		260.2	374.0	94.0		
	奨学金利用者数	人	11/27	5 / 29	- / -	- / -	制度条件に合致する学生全員
単位あたりコスト		212.9	224.4				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育の機会均等を図り、社会に有為な人材の育成を図るという制度趣旨や福知山市民の数を増加させるという観点を踏まえると、法人設立団体である本市が実施することが望ましい。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは適切な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内高校生の進学率の向上、また市内高校生に対する優遇措置を図る観点から市内在住者の入学生に対し入学金の一部減免を行う。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動実績は、制度利用者(福知山市出身者)数を設定している。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>福知山市内からの入学者を確保するために令和2年度に新たに創設した。</li> <li>学生募集活動に際しても、各高等学校から本制度を望む声を多く受けている。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度から国の高等教育無償化制度が創設され、従来の「福知山公立大学入学支援金」、「福知山公立大学奨学金」を廃止し、代わって国の制度の対象とならない福知山市民の入学者に対する減免制度として創設した。</li> <li>今後、福知山市のみならず近隣市町へも同様の減免制度の創設を呼びかけていく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山公立大学運営費交付金事業												
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課					所属長	岸本 範義					
会計情報	事業コード	660105	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	「知の拠点」整備構想							
根拠法令等	公立大学法人福知山公立大学運営費交付金交付規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公立大学法人福知山公立大学の基本理念である「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」の実現に向け、業務遂行にかかる財源として、また令和2年度から2学部200名体制となるにあたり必要な財源として、運営費交付金を交付することにより、法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図ることを目的とする。												
対象者	福知山公立大学生及び教職員					対象者数	660	単位あたりコスト	655.5				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	公立大学法人福知山公立大学の運営に必要な経常経費を運営費交付金として交付した。 【令和2年度内訳】 収入不足分 20,000千円 先行投資分 149,000千円 地方交付税措置分 262,378千円 ・地域経営学部 学生数501人×212,000円=106,212千円 ・情報学部 学生数100人×1,534,100円=153,410千円 ・過年度精算分 2,756千円												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	431,378	福知山公立大学運営費交付金										

## III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	279,248	431,378	478,914	537,763	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	279,248	431,378	478,914	537,763		
予算財源内訳	① 一般財源	220,248	431,378	478,914	537,763	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	59,000	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	
	② 配当予算	279,248	431,378	0	0	
	③ 執行額	279,248	431,378	0	0	
	④ 執行率	100.0%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.09 / 0.00	0.14 / 0.04	0.14 / 0.04	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	720	1,220	1,220	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	279,968	432,598	1,220	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
大学運営の健全化(収支不足額の削減)	在学学生数	人	366/368	469 / 461	619 / 601	/ 664	814
	大学運営の健全化(収支不足額の削減)	百万円	199/199	124 / 124	20 / 20	/ 20	収支不足の解消
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	全就職者数に占める北近畿地域への就職者数	人	6/19	12 / 57	15 / 159	/ 116	50
	単位あたりコスト		2137.2	23270.7	28758.5		
	志願者数の確保	人	665/600	763 / 850	614 / 850	/ 850	850
	単位あたりコスト		424.2	366.0	702.6		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方独立行政法人法第42条の規定により、法人の設立団体である本市のみが実施することができる代替性のない事業である。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>設立時から当面の間は地方交付税及び福知山市一般財源で賄うことを踏まえ、法人においては徹底した支出抑制と収入確保に努めており、市からの負担金を最小限に抑えている。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>北近畿において、地域課題解決に向けたアンケート調査・分析、フィールドワーク等を行ったことにより、学生の課題解決力、コミュニケーション力等といった社会人基礎力の向上につながったとともに、地域活性化に向けて地域住民からの期待も徐々に高まっているため有効性が高い。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に情報学部が開設し、2学部入学定員200名体制が実現した。また、公立大学法人が中心となり高校を訪問して大学の周知に努め多くの志願者を獲得した。</li> <li>教育研究活動においては、福知山公立大学の特色である「地域協働型実践教育研究」に取り組み、地域課題の解決に寄与した。</li> <li>福知山公立大学入学2期生144名が卒業し、そのうち15名が北近畿地域の企業や行政機関に就職した。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>引き続き福知山公立大学を支援し、教育研究活動の充実、学生確保に向けた募集活動、さらには外部資金の獲得やコスト削減による業務改善を通じた公立大学の財務基盤の強化に取り組む。</p> <p>北近畿地域からの志願者及び入学者を増やすため、福知山公立大学の中期目標に掲げる「地域で学び、地域で働く」という人材循環システムの構築に向け、北近畿地域の高校への大学周知による志願者数の確保及び北近畿地域への若者定着に向けて就職支援に取り組む。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>福知山公立大学と福知山市の協力体制のもと、引き続き教育研究活動の充実、学生確保に向けた募集活動、外部資金の獲得やコスト削減による業務改善を通じた福知山公立大学の財務基盤の強化に取り組む。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和3年度事務事業評価シート(R3新規事業)

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	シニアワークカレッジ運営事業												
事業担当	所属	市長公室 大学政策課					所属長	岸本 範義					
会計情報	事業コード	660114	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	020502	施策名	産・官・学が連携し地域産業の振興と雇用創出による賑わいを創出する									
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	産・官・学が連携し地域産業の振興と雇用創出による賑わいを創出する												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地方における労働力不足の課題に対応するため、企業や事業所におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)とシニア世代の更なる活用を促すために、「シニアワークカレッジ」を開設し、市内企業・事業所の従業員にリカレント教育(学び直し)によるスキルアップとIT人材育成を通じた事業所のDX支援につなげる。											
対象者	市内在住または市内事業所勤務者					対象者数	37,476	単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
事業概要 (箇条書き)	福知山公立大学の知見を活用しAIやデータサイエンスなどビジネスの現場で活用できる情報学講座を開設するための委託金。											
R3予算要求額 主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出予算額	主な業務内容									
	報償費	600	その他謝礼									
	委託料	1,100	業務委託									

## III 予算執行状況

区分	R3(本年度)	R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,700	3,000	
	② 補正予算	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	
	前年度繰越	0	0	
	次年度繰越	0	0	
小計(①～③)	1,700	3,000		
予算財源内訳	① 一般財源	0		
	② 国支出金	850	1,500	
	③ 府支出金	0	0	
	④ 地方債	0	0	
	⑤ その他特財	850	1,500	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3(中間実績)	最終目標
	受講者のキャリア開拓件数	件				/	0 / 1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3(中間実績)	最終目標
	講座受講者数	人	/	/	/	28 / 30	
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に先立ち事業者からヒアリングを実施するなど、参加者のニーズの把握に努めた。</li> <li>・本年度、データサイエンスコース、DX人材育成コース、AI人材育成コースの3コースを実施し、3コース合計28人が参加し、福知山公立大学情報学部の見解を活用し、ビジネスで役立つ最新の情報技術を学んだ。</li> </ul>
	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
	・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		
効率性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の財源(地方創生推進交付金)を活用し、一般財源負担を最低限に抑えている。</li> </ul>
	・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか		
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		
有効性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福知山公立大学情報学部の見解を活用し、ビジネスで役立つ最新の情報技術を学んだ。</li> </ul>
	・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		
当年度開始後、上半期での取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データサイエンスコース、DX人材育成コース、AI人材育成コースの3コースを実施し、合計28人が参加した。</li> <li>・ビジネスチャットツール(Slack)を活用し、開催日当日だけでなくいつでも講師と参加者と意見交換ができる環境を整備した。</li> </ul>		
当年度開始後、上半期が経過して生じた新たな課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインでの開催が多くなったことにより、参加者同士の交流の場を設けることが難しかった。</li> </ul>		
下半期及び次年度への改革・改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所等へのヒアリングを継続し、参加者のニーズにあったコースを企画する。</li> </ul>		

## VI 他部署評価

事中事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生の確保に向けて、募集方法を検討する必要がある。</li> <li>・早期に事業評価(受講生、教員などへのアンケート)を行い、来年度の事業内容につなげていただきたい。</li> <li>・企業や事業所のニーズを踏まえたカリキュラムの見直しが必要である。</li> <li>・評価シートには事業内容が分かるように記載内容を充実させてください。</li> <li>・シニア世代の参加者はどの程度か、研修内容は参加者の求めているレベルかなど、参加者からの意見を基に事業構造を見直す必要があるのではないかと。</li> </ul>
--------	---

## VII 評価を踏まえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し  <input type="checkbox"/> 統合/組換  <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度実施したシニアワークカレッジの参加者や市内の事業者へのヒアリングを行うなどのニーズ把握を行い、ビジネスの現場で活用できる講座を継続し、高度情報人材を育成する。</li> </ul>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--